

あなたの心にジャストミート 5月21日メッセージ  
人の実体を知らない(マルコ 7:14-23)

イスラエルは、神様を喜ばすつもりでやったことが、かえって神様を悲しませ、御怒りを買ひ、悪魔を喜ばせることになりました。なぜ、このような大問題になったのでしょうか。

1. 人の実体を知らない、良かれと思ってやったことが裏目に出てしまう。

1) 聖書だけが教える人の実体(エペソ 2:1-3) 「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

2) 清めの儀式と全ての戒め-キリストと絡んでいる

パリサイ人は、弟子たちが手を洗っていないことを見て、戒めを守らないと攻めたのですが、清めの儀式は、いのちがなく死んでいて、生まれながら御怒りを受けるべき人間は、神様の前に出るには、キリストが必要だという意味でした。

3) 中身の欠如のまま儀式(戒め)だけが一人歩き

しかし、イスラエルの民は、キリストを抜いて、儀式、戒めだけを徹底していたのでした。

4) 無効化と逆効果

神様のために良かれと思っていたことが、実

体に分かれないと、効果なく、かえって逆効果になるのです。

5) コルバン、サウル王、カトリック神様にささげることが喜ばれることだと思っただけですが、キリスト抜きでささげようになっていました。サウル王は、いけにえをささげることができるのは、預言者しかできないのに、礼拝をささげたほうが良いと思って、自分でささげてしまいました。預言者しかできないというのは、only キリストだという意味なので、キリストを抜いていけにえをささげたということです。カトリックは十字架の模様だけにこだわり、贖いの救いの意味は抜けて、十字架に効果があると思うようになりました。このように、実体に分かれないと、逆効果になり、サタンが喜ぶことをしてしまいます。

6) 人権、平等、心理学、瞑想 教会も神様のために良かれと思って、人権、平等を主張して、それが裏目に出て、宗教多元論に傾き、どんな宗教でも救いはあると言い始めました。心理学で人を癒やそうとして、ヒューマンイズムを究めるようになり、クリスチャンが無気力になっているので、内側を磨いて啓発しようと、瞑想を取り入れるようになっています。

7) 宗教の儀式

宗教はたくさんの儀式があり、その儀式によって効果があると思っています。人の実体に分かれないと、教会でも、暗闇のやぐらを建てるようになってしまいます。実体を知ることが大切です。

2. 人の実体を知らない、勘違いから抜けられない。

食べ物や外から入るものは人の心を汚すのではなく、内から出るものが汚すと言われました。

1) 生まれる時、白紙の状態生まれる罪の特徴を知らない、赤ん坊は天使のようだと思っています。

2) 外部の要因で汚れる

3) 教育、環境、愛情、制度等に希望を これは根本に、人は本来は大丈夫なのに、なにかの問題で、このように悪くなるのだと錯覚しています。

4) ~せい、心の傷

それゆえ、心の傷からは自由になれず、なにかのせいだと思ひ込んでいます。

5) 人の実体を改めると-腐敗した内側から汚れものが出る

エペソ 2:1-3 に聖書が証言しています。人は内側が根本から腐敗しているので、環境にぶつかって、それが出て来るだけなのです。す

べての人が罪人です。

3. 人の実体を知ると、キリスト Only になるしかない。

内側を清めるのは、キリストしかありません。罪のないイエスが身代わりに死んでくださること以外にはないのです。他の人と比べることは愚かなことです。キリスト only になると、自由になります。理論も法則も、何もの内側を清めることはできないので、キリストだけになります。

私たちの脳には、さまざまなことが入っています。聖書が教えるとおりに知り、素直に受け入れましょう。人の実体を知り、認めて、キリスト以前のすべてを「ちりあくた」と告白して新しくスタートしましょう。白紙を前提にできた全ての理論、清められる(変えられる)と思って主張されてすべての方法を「ちりあくた」と認めて捨てましょう。パウロの信仰告白(ピリピ 3:7-8)を口に出して読み、書いて、脳細胞に刻みましょう。考えが変わるようになるでしょう。

1部-マルコ 7:14-23 人の実体を知らないと…

なるほど/ 人の実体を知らない、良かれと思ってやったことが逆効果を招き、勘違いから永遠に抜け出せず、取り返しのつかない失敗に陥る。

ならば/ 人の実体を認めて、Only キリストの信仰に釘を打ち、すべてをちりあくたと告白してして、キリストにあって新しく始めよう。

2部-マタイ 16:16-20 神様に用いられる人

なるほど/神様は、キリストだけの動機であり、従って伝道だけが動機になり、聖霊の力だけを動機にする人を用いて、世界を変えられる。

ならば/他の動機を捨て、無条件に講壇の御言葉に従うことを決断し、動機による執着の祈りを捨てて、神様の計画を集中して祈る信者になろう。